

静岡県漁業協同組合連合会

999 静岡市追手町 9-18
14.6.28 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 本会・県信漁連 第53回通常総会開催

本会では、去る6月20日第53回通常総会を開催しました。

当日は、原会長の挨拶のあと石川県知事、森県議会議長の来賓祝辞に続いて永年勤続職員4名に対する表彰が行われ、その後祝電の披露が行われました。次に小林戸田漁協長が議長となり平成13年度事業報告、14年度事業計画等8議案が審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。また、役員欠員に伴う補欠選挙が行われた結果、理事として橋ヶ谷善生氏(小川漁協長)が就任致しました。永年勤続職員表彰：三浦 等(内浦漁協) 木村英人(焼津漁協) 富田英機(小川漁協) 樽林喜逸(県信漁連) (退職前所属団体・敬称略)

また、当日は本会の総会に続き、県信漁連の第53回通常総会が開催され、佐藤会長の挨拶のあと、平成13年度信用事業優良漁協表彰・功労者表彰があり、続いて栗原県農業水産部長(青山水産総室長代読)、京谷農林中金静岡支店長の祝辞、祝電の披露に続いて根崎伊東市漁協長が議長となり平成13年度事業報告、14年度事業計画等6議案が審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。表彰 信用事業優良漁協 全漁連会長表彰：福田町漁協 信用事業功労者 全漁連会長表彰：真野喜久太郎(沼津我入道漁協長) 農林中金静岡支店長感謝状：佐藤和彦(前戸田支所長・漁協より出向) 県信漁連会長感謝状 大野正彦(南伊豆支所長・漁協より出向) (敬称略)

2. 県漁協の共済推進本部第7回通常総会開催

県漁協の共済推進本部(原剛三本部長)では、去る6月4日第7回通常総会を開催し運営委員の承認、13年度活動報告、14年度活動計画を承認しました。

13年度は、沼津や榛原地区で共済感謝の集いを開催するなど、漁協と一体となり漁協の共済推進運動に取り組みました。長期共済部門では、新規契約件数は678件(前年比101%)、契約高37億5千万円(同93%)、契約保有高654億円(同98%)となり、短期共済部門では契約件数9,590件(同96%)、契約高1,215億円(同101%)でした。

また、14年度活動計画では「R E S T A R T(リスタート) - J F 共済3ヵ年計画」(14~16年度)を掲げる初年度として、県推進本部と漁協とが一体となり、J F 共済の普及を図り事業目標必達を期していくこととしています。

3. 県漁業信用基金協会平成14年度通常総会開催

県漁業信用基金協会では、去る6月21日平成14年度通常総会を開催しました。

総会は、小林理事長の挨拶のあと、県農業水産部長の祝辞に続いて祝電の披露が行われ、引続き石津地頭方漁協長が議長となり、平成13年度事業報告、14年度事業計画等5議案が審

議されいずれも原案どおり可決承認されました。

また、役員退任に伴う理事の選任と委嘱が行われた結果、杉本晃一郎氏(大井川町漁協長)、栗原 績氏(県農業水産部長)、京谷尚樹氏(農林中金静岡支店長)が各々就任いたしました。

4. 全漁婦連第44回通常総会開催 J F 全国女性連へ

全漁婦連では、去る6月18日第44回通常総会を開催し、平成13年度事業報告、14年度事業計画等の議案を原案どおり可決するとともに昭和34年の創立以来、長年に亘り親しんできた愛称「全漁婦連」を「J F 全国女性連」に、また、正式名称を「全国漁協女性部連絡協議会」に変更することを満場一致で決定しました。

なお、14年度の基本方針は次のとおりです。女性の参加促進：女性の適正評価の面から漁協運営参画、女性正組合員化、役員登用について目標を設定する等の取り組みを検討するよう働きかける。組織強化と活動の活性化：若手育成のためフレッシュミズプログラム実施とともに各婦人部におけるリーダー育成にも取り組む。また、J F の旗印のもとJ F グループの生産者自らが生産物に責任を持った事業展開を実施することへの協力、年齢にとらわれず婦人部に加入しやすくすることを目的に、全漁婦連の名称を「全国漁協女性部連絡協議会」、愛称を「J F 全国女性連」に変更する。全国共通運動の推進と広報活動による知名度アップ：森と海をつなぐ環境保全運動、水産物消費拡大運動、海難遺児を励ます漁村女性1人1月10円募金運動の各運動と漁協系統貯金3兆円達成運動や信用事業の全面利用を推進する。また、広報活動ではホームページの活用ほか、機関紙の発行を通じて漁協婦人部組織・活動の知名度向上を図ることにしています。

5. 本年のカツオ来遊「平年を下回る」

水産庁では、このほど常磐、三陸沖における今後のカツオ漁について発表しました。

それによると6月以降の来遊は平年をやや下回り、体長については、魚体42~48cm、体重1.3~1.8kgが中心。秋には52~55cm、3~3.6kg程度になると予測されています。

根拠としては、2~6月上旬の間、資源の中心となる2.5kg未満のC P U E(近海釣船1日1隻当たり漁獲量)が平年並みかやや下回っている。小笠原~房総半島近海での魚群分布調査が過去25年平均を下回ったことを挙げています。

一方、6月上旬に、北緯33~35度、東経150度を中心とした沖合に漁場が形成されており、房総近海における黒潮系暖水の北上勢力は、東寄り(東経146度以東)で強くなっているため、「カツオの北上経路は例年よりも沖合になる」と予測しています。

6. 諸会議・日程 (7月2日(火)~7月15日(月))

- 既報分省略 -

7月2日(火)~4日(木) 県漁連 = 年金事務担当者講習会

(2日：磐田市・ワクーピア磐田、3日：静岡市・クーポール会館、4日：沼津市・沼津軒)

7月6日(土) 県漁連 = 口坂本の森クラブ (静岡市井川)